

川崎市市制100周年記念事業の取組 について



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



川崎市市制100周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
(総務企画局シティプロモーション推進室)

川崎市市制100周年記念事業の取組について

- 市制100周年記念事業については、令和6(2024)年に市制100周年の歴史的な節目を迎えるにあたり、本市のあゆみや歴史・文化を振り返り、本市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とするとともに、次の100年に向けて、「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとするよう取組を進めました。
- オール川崎市の推進体制として「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を組織し、令和5(2023)年3月に策定後、令和6(2024)年3月に改定した、川崎市市制100周年記念事業実施計画「Colors,Future! Actionsプラン」に基づき、約400の実行委員会参画団体の団体・企業等の皆様と連携しながら、記念事業を展開しました。
- オール川崎市で取り組んだ市制100周年記念事業を報告するとともに、記念事業の取組を踏まえて「あたらしい川崎」を生み出していく、100周年記念事業終了後の取組の考え方として、「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」がとりまとめた「Colors,Future! Actions 推進ビジョン素案」及び市制100周年で実施した実行委員会主催事業を継続・発展させていく令和7年度の主な事業を併せて報告します。

【報告内容】

I 川崎市市制100周年記念事業の取組について

- 1 市制100周年記念事業実施計画の概要
- 2 市制100周年記念式典
- 3 全国都市緑化かわさきフェア
- 4 実行委員会主催事業
 - 4-1 かわさき飛躍祭
 - 4-2 Colors,Future! Summit 2024
 - 4-3 みんなの川崎祭
 - 4-4 かわさき脱炭素プロジェクト
 - 4-5 音楽プロジェクト
 - 4-6 みどりの共創プロジェクト
 - 4-7 未来っいいいな☆まつり ～夢を集めて川崎100周年～
 - 4-8 提案型事業・まんなかフェス
 - 4-9 提案型事業・子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト

5 川崎市主催事業

6 実行委員会参画団体主催事業、パートナー主催事業

- 6-1 実行委員会参画団体主催事業
- 6-2 パートナー主催事業
- 6-3 市民、企業、団体等の機運醸成

7 広報について

8 協賛について

II Colors,Future! Actions 推進ビジョン素案

III 主な事業の令和7年度における取組について

1 市制100周年記念事業の概要

1 基本方針

(1) 川崎市ブランドメッセージへの共感を喚起する。

「多様性」を可能性にして発展してきた川崎市の歴史を振り返りながら、市民の共感を喚起します。

(2) 新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。

市民、企業、団体等と協働・共創して多様なアクションを進めて全市的なムーブメント(行動)を起こし、将来のよりよい文化にしていきます。

特に「みどり分野」については、令和6(2024)年度に「全国都市緑化かわさきフェア」を開催し、“川崎らしいみどり”を発信します。

(3) 市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。

市民に参加や関わりを促すことで、シビックプライド(川崎への愛着と誇り)の醸成を図ります。

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

1 市制100周年記念事業の概要

市制100周年という歴史的な節目に向け、市に縁のあるさまざまな企業、団体等で構成される実行委員会を中心としながら、オール川崎市で市制100周年の取組を進めました。

2 実行委員会

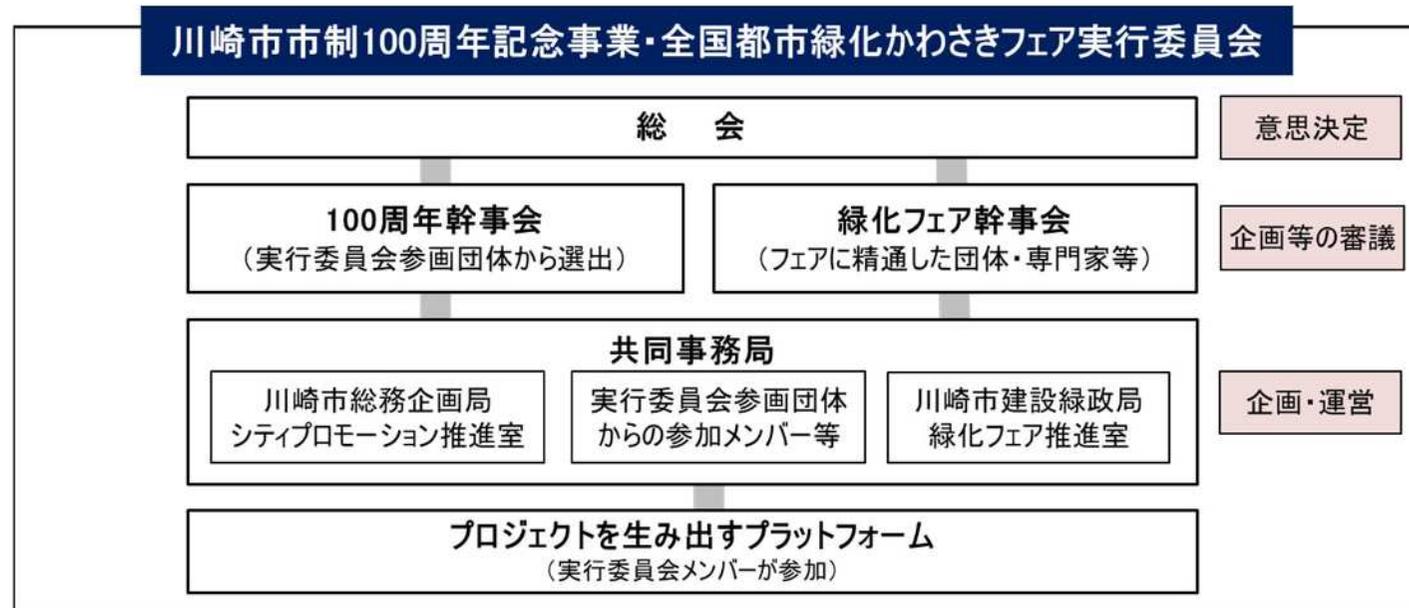
目 的 : 市制100周年記念事業及び全国都市緑化かわさきフェアの円滑な実施
及び運営の一体的な推進

会 長 : 福田 紀彦(川崎市長)

設 立 日 : 令和4(2022)年9月1日

参画団体数 : 設立当初276団体→**397団体**

※令和7(2025)年8月29日の実行委員会総会で実行委員会の解散を決議予定



1 市制100周年記念事業の概要

3 事業コンセプト等

(1)事業コンセプト

川崎市ブランドメッセージに込められた意味が「あたらしい川崎」を生み出していくという100周年記念事業を体現することから、記念事業のコンセプトを「Colors,Future! いろいろって、未来。」としました。

(2)プラットフォーム「 Colors,Future! Actions 」

記念事業のコンセプトを具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設けました。

(3)15のActionテーマ

「Colors,Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするために、「より川崎をよくする」取組の“目印”として、15の「Actionテーマ」を設定しました。

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



【市制100周年記念事業ロゴマーク】



【Actionラベル例】

1 市制100周年記念事業の概要

4 記念事業期間

令和6(2024)年4月1日～令和7(2025)年3月31日

(令和5(2023)年度はプレ事業やPR等を実施)

5 時期ごとの目的・事業

川崎市に関わる多くの方に「川崎を知って」→「記念事業に関わって、つながって」→「川崎を好きになって」いただくために、期間ごとに目的を示して事業等を展開しました。

	準備期間 (令和5(2023)年度)	記念事業期間 (令和6(2024)年度)
目的	「川崎を知ろう」	「記念事業に関わって」→「川崎を好きになろう」
PR事業	記念事業に多くの市民が参加や参画してもらえるように、またオール川崎市で市制100周年を祝うことができるように「令和6年度に川崎市が市制100周年を迎えること、迎えるにあたっての思い」を広く周知するPRを中心に実施	多彩なActionの取組を広報し、記念事業に関わってもらうPRを実施
Action	令和6年度の記念事業実施に向けて先導していくAction	記念事業のコンセプトを踏まえた多彩なAction

1 市制100周年記念事業の概要

6 事業の推進計画

(1) 記念事業に取り組む視点

次の4つの視点により記念事業を進めました。

【視点1】 共創による社会課題の解決と未来への挑戦

市民、企業、団体等との共創により、行政だけでは解決しにくい社会課題の解決を図るとともに、川崎からはじまる新しい未来や文化を創造するきっかけとなるさまざまな可能性に挑戦しました。

【視点2】 川崎を好きになる事業の展開

多くの市民が、川崎市の歴史や魅力、多様性の価値を知りながら、関わっていくことで、川崎市への愛着が次々に生まれ、「好き」があふれる川崎を生み出していききっかけとなる事業を展開しました。

【視点3】 これからの100年を担う若年層を中心とした「あたらしい川崎」を生み出す取組の展開

これからの100年を担う若年層を中心に、一人ひとりが川崎の未来を考え、川崎の未来のために行動し、「あたらしい川崎」を生み出していけるような取組を進めました。

【視点4】 市民、企業、団体等を巻き込む取組の実施

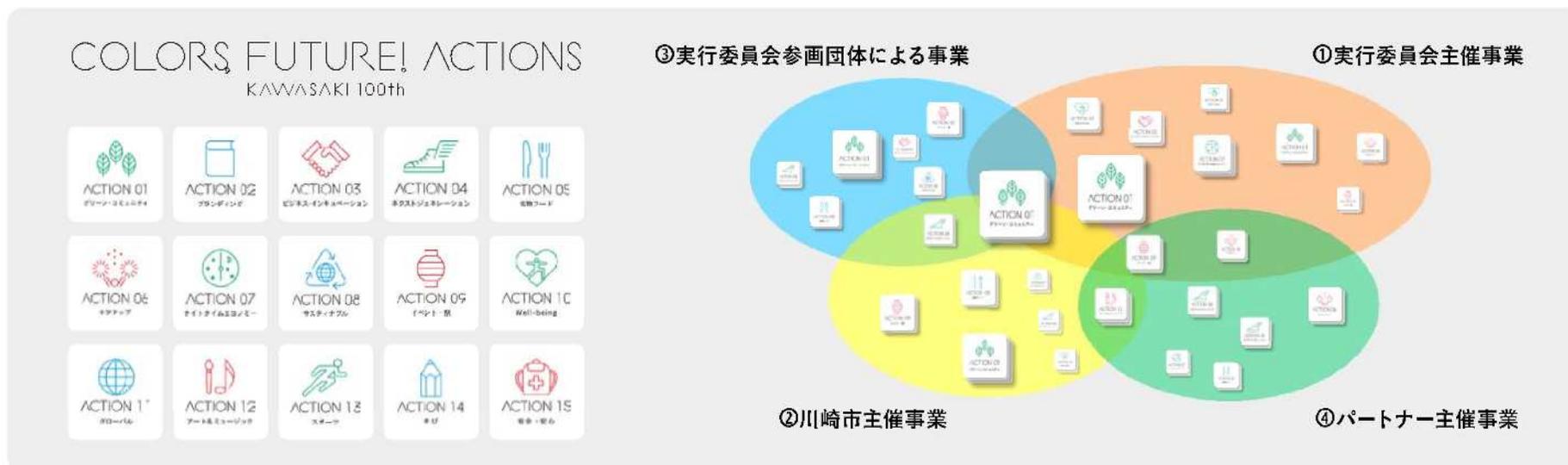
令和7年度以降の取組の活性化も見据え、実行委員会や川崎市が先導し、基本理念に賛同する市民、企業、団体等自らが、主体的に市制100周年を祝い、盛り上げていけるよう取組を進めました。

1 市制100周年記念事業の概要

(2) 記念事業の分類

記念事業は次の4つの主催事業により、それぞれの主体が連携し、関連しながら展開しました。

	① 実行委員会 主催事業	② 川崎市 主催事業	③ 実行委員会 参画団体主催事業	④ パートナー 主催事業
事業主体	実行委員会 (幹事会・共同事務局)	川崎市	実行委員会 参画企業等	趣旨に賛同する市民、団体、 企業等(実行委員会非所属)
実行予算	実行委員会予算	川崎市予算	原則、各企業等の負担	市民・各企業等の負担



1 市制100周年記念事業の概要

7 記念事業の全体像

準備期間である令和5(2023)年においては、市制100周年のコンセプトを共有するさまざまな広報を展開するとともに、プレ事業として多様な主体とさまざまな事業を展開しながら、市制100周年の機運醸成を図りました。

記念事業期間である令和6(2024)年については、こうした令和5(2023)年度の取組により醸成された機運やプレ事業での取組結果を活かしながら、記念事業のコンセプトを踏まえた多彩な事業を展開しました。

記念事業を進めるにあたり、市制100周年記念事業に取り組む視点を踏まえ、大きく3つの時期に分け、テーマと「取組の核」を設け、「取組の核」としては、それぞれ「市制100周年記念式典」、フェス&カンファレンス「Colors,Future!Summit」、 「全国都市緑化かわさきフェア」の秋開催及び春開催を位置付け、「取組の核」を中心にそれぞれの取組を有機的に連携させながら、年間を通じて、市域全域でさまざまな事業を展開しました。



1 市制100周年記念事業の概要

「取組の核」を中心に、実行委員会が主催するプロジェクトや、市の各施策の中で取り組む+αのチャレンジ、実行委員会参画団体をはじめとした自主的なActionを実施するとともに、それぞれが有機的に連携しながら年間を通じて市制100周年を盛り上げました。



プレ事業等による機運醸成

募集・選定

2 市制100周年記念式典

市民の皆様とともに市制100周年を祝い、次の100年に向けた新たなスタートラインとするため、市制100周年記念式典を開催しました。

●取組概要

実施時期 令和6(2024)年7月1日(月・市制記念日)

会場 ミューザ川崎シンフォニーホール

主催者 川崎市/川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

出席者 約1,900人(被表彰者、来賓・招待者、市民招待者、記念演奏出演者等)

主な内容 ○オープニング/パイプオルガン演奏(松居直美氏)

○市制100周年記念映像の上映

○式辞(川崎市長)

○来賓祝辞(川崎市議会議長)

○市制100周年記念表彰式

川崎市の発展に関し特に顕著な功績がある方及び功績があり今後の更なる活躍が期待される方を称える表彰を実施(228組)

・国歌・市歌斉唱(伴奏：大木麻理氏、市歌指揮：中村拓紀氏、市歌斉唱：桐光学園中学高等学校合唱部)

・市政功労賞等贈呈(被表彰者代表17名が登壇)

○市制100周年記念演奏

式典のために特別に編成した市制100周年記念オーケストラ(約120人)・合唱団(約400人)による記念演奏

・指揮：秋山和慶氏、ピアノ：小川典子氏

・演奏曲：「マーチ・かわさきのねいろ」、「世界中から こんにちは そして ありがとう」、「ボレロ」、「好きです かわさき 愛の街」

【参照】

川崎市市制100周年記念映像 <https://www.youtube.com/watch?v=TsTwKFfu2CM>

川崎市市制100周年記念式典アーカイブ映像 <https://youtu.be/F4EXY1I9ADw>



3 全国都市緑化かわさきフェア

市制100周年の象徴的事業として、みどりが持つ多様なポテンシャルを、共有の価値として認識するとともに、みどりが持つポテンシャルを最大限に活用して、みどりの多様な効果が実感でき、人々が暮らしやすく住み続けたいまちとするため、市民や企業、行政などの多様な主体が将来像を共有するためのさまざまな取組を通じて、“川崎らしいみどり”を全国に向けて発信しました。

●取組概要

名称・愛称 第41回 全国都市緑化かわさきフェア「Green For All KAWASAKI 2024」

テーマ 「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」

主催者等 提唱：国土交通省 / 主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構
実施主体：川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

開催期間 秋開催：令和6(2024)年10月19日(土)～11月17日(日)(30日間)
春開催：令和7(2025)年 3月22日(土)～ 4月13日(日)(23日間)

会場 コア会場：富士見公園会場、等々力緑地会場、生田緑地会場
コア会場周辺エリア及びまちなかみどりスポット(公園緑地、駅前広場、道路、河川、庁舎、商業施設など)

来場者数 約162万人(秋開催：約94万人(富士見公園会場：約51万人、等々力緑地会場：約26万人、生田緑地会場：約17万人))
(春開催：約68万人(富士見公園会場：約21万人、等々力緑地会場：約34万人、生田緑地会場：約13万人))

●主な行事

<秋会期> **オープニングセレモニー・総合開会式** 令和6(2024)年10月19日(土)
全国都市緑化祭 令和6(2024)年11月 1日(金)

<春会期> **総合閉会式** 令和7(2025)年 4月13日(日)



Green For All
KAWASAKI
2024

第41回 全国都市緑化かわさきフェア
シンボルマーク



オープニングセレモニー(秋)



総合開会式(秋)



全国都市緑化祭(秋)



総合閉会式(春)

3 全国都市緑化かわさきフェア(秋開催・春開催の様子)

「多様性×みどり」

富士見公園会場



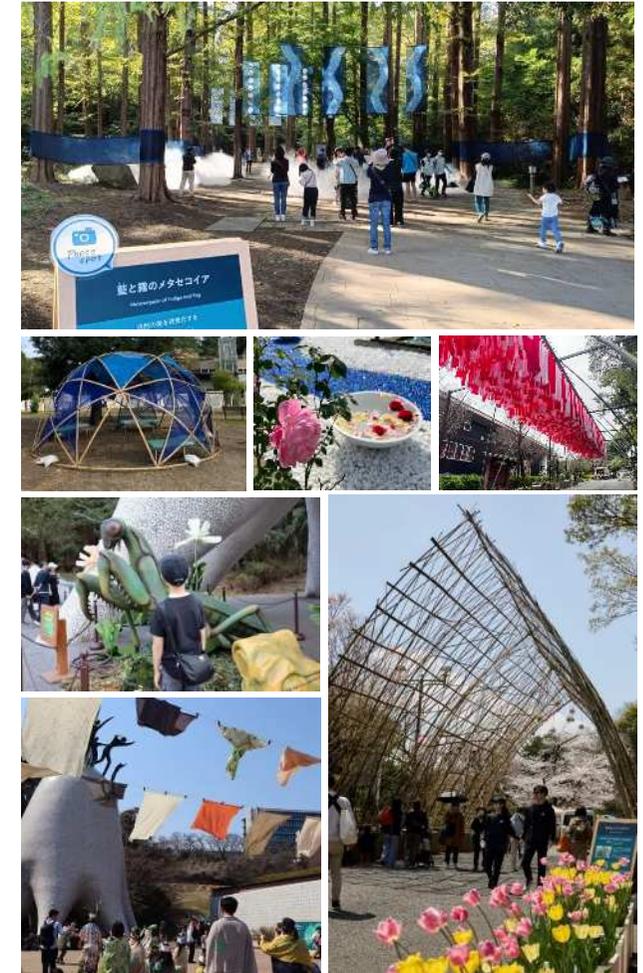
「体験・体感×みどり」

等々力緑地会場



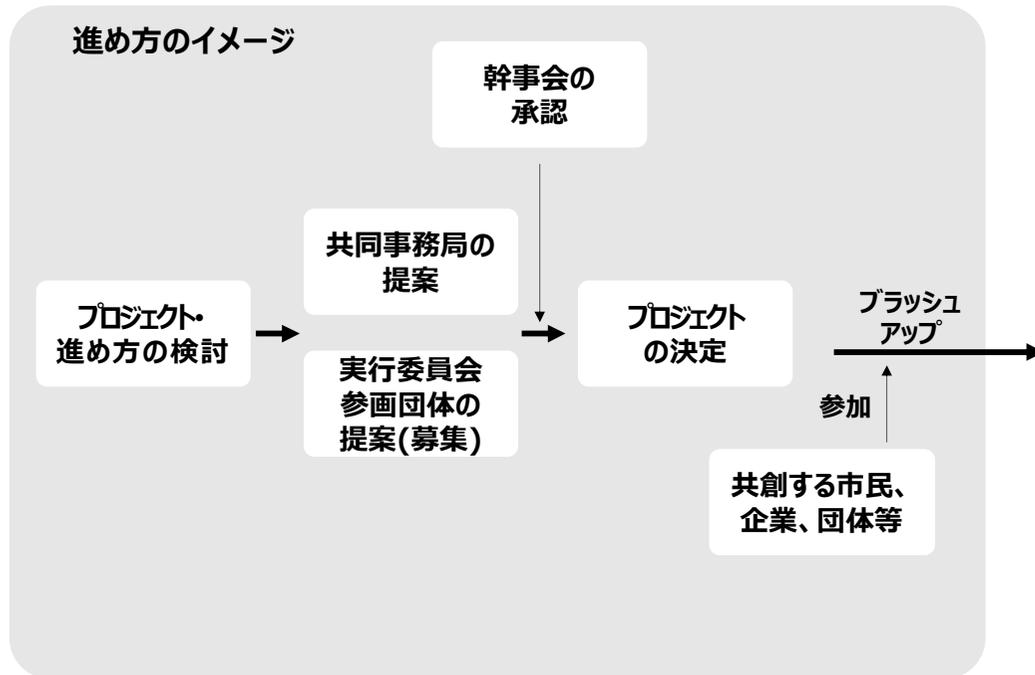
「歴史・文化×みどり」

生田緑地会場



4 実行委員会主催事業

実行委員会が主体となり、「Colors, Future! Actions」を体現する実行委員会主催事業は、共同事務局を中心に、実行委員会参画団体とも連携し、さまざまなプロジェクトを検討・実施しました。市民、企業、団体等と共創しながら官民連携で事業を推進し、あたらしい川崎の可能性に挑戦する取組を展開しました。



	プロジェクト名
1	等々力緑地全体を活用した共創・賑わい創出プロジェクト 「かわさき飛躍祭」
2	フェス&カンファレンス 「Colors,Future!Summit2024」
3	公共空間を活用した賑わい創出プロジェクト 「みんなの川崎祭」
4	かわさき脱炭素プロジェクト
5	音楽プロジェクト 「ここから未来プロジェクト」
6	みどりの共創プロジェクト
7	未来っていいな☆まつり ～夢を集めて川崎100周年～
8	提案型事業 「まんなかフェス」
9	提案型事業 「子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト」

4-1 実行委員会主催事業（かわさき飛躍祭）

市制記念日に合わせて、川崎が誇る多様なプレーヤーの連携により、等々力緑地をフル活用した、川崎の魅力や価値に触れる祝賀イベントを実施することで、未来を担う若者を中心に、“川崎はすごい”“最高に楽しかった”という体験と記憶を残してシビックプライドの向上を図るとともに、将来に向けた賑わいあふれる等々力緑地創出を目指して開催しました。

●取組概要

日 時：令和6(2024)年6月29日(土) 9時～21時
場 所：等々力緑地一体
来場者数：約18万人



イベント名	時間	概要	来場者数
① かわさき100フェス (実施主体：ディスクガレージ)	正午～16時 (球場)	SHISHAMO、sumikaなどの川崎ゆかりのアーティストが出演する野外音楽イベント	約9,000人
② アット(@/at)等々カフェス (実施主体：川崎とどろきパーク 川崎市・実行委員会)	10時～18時 (緑地内各所)	各種スポーツ・パラスポーツ体験コーナー、キッチンカーなど	約150,000人 ※③の700パーク来場者、④ブルーインパルス飛行展示観覧者含む
③ 川崎フロンターレ市制100周年記念試合 (実施主体：川崎フロンターレ)	19時キックオフ (陸上競技場)	対サンフレッチェ広島(市民招待1,100名、ハーフタイム・試合前イベントなど)	22,393人 ※記念試合来場者数
④ ブルーインパルス展示飛行 (防衛省)	14時20分頃～ (緑地上空)	かわさき100フェス野外音楽イベントとの一体的な演出	—

●実施結果まとめ

- ・約18万人が来場し、“川崎はすごい”“最高に楽しかった”という体験と記憶を多くの方に提供することができた
- ・実行委員会公式ウェブサイト「かわさき飛躍祭」ページの6月のビュー数が724,052ビューを記録し、本イベントへの高い関心が寄せられた
- ・イベントの様子は、新聞72媒体、WEB725媒体、テレビ12番組などのメディアに取り上げられ、市制100周年や川崎の魅力を市内外に多く知ってもらう機会となった

4-1 実行委員会主催事業 (かわさき飛躍祭)

●当日の様子

① かわさき100フェス



フェスの締めくりに撮影した会場の皆さんと出演者の写真
©Sakata Yoshihiro(THINGS.)

② アット(@/at)等々カフェス



若者ラバース ワークショップの様子

③ 川崎フロンターレ市制100周年記念試合



ハーフタイムショー @KAWASAKI FRONTALE

④ ブルーインパルス展示飛行



©Sakata Yoshihiro(THINGS.)

4-2 実行委員会主催事業 (Colors,Future!Summit 2024)

実行委員会主催事業を先導し、市制100周年記念事業「Colors, Future! Actions」のショーケースとして、これまでの100年で培われた川崎の魅力や再発見できる、誰もが楽しめる『フェスティバル』と川崎の可能性を共有し、未来づくりへの参加のきっかけとなる『カンファレンス』を組み合わせ、市制100周年からはじまる産官学共創の「Colors,Future!Summit」を開催し、川崎のポテンシャルや魅力を広く発信していくことで、市民のシビックプライドの向上を図りました。

● 取組概要

令和6(2024)年度は『はじめるを、はじめよう！』をテーマに、川崎を起点に「まち」と「社会」の未来を考えるきっかけとなるカンファレンスとちょっと先の未来には当たり前になっているかもしれない“おいしいの未来”が体験できるフェスティバルを開催しました。

日時： 令和6(2024)年11月2日(土)・3日(日) 10時～19時30分

場所： 川崎市役所本庁舎 2階ホール(A会場)/UNI COFFEE ROASTERY 川崎市役所(B会場)/ラゾーナ川崎プラザルーファ広場(C会場)

実施主体： フェス&カンファレンス製作委員会

(株)ホリプロ/NTT東日本/(株)EVERY DAY IS THE DAY/(株)JTB/(株)TopKnock/
(株)フロンティアダイレクト/川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会)

スポンサー： 15社(富士通(株)/アサヒビール(株)/東急不動産ホールディングス(株)/昭和大学/(株)CSD 他)

来場者数： 約2.3万人

会場コンセプト： 各会場のプログラムがイメージしやすいよう、会場の特徴や魅力を活かしたコンセプトを設定しました。



【A会場】市役所2階ホール 【B会場】UNI COFFEE ROASTERY 【C会場】ルーファ広場

Play!Future Park ~おいしいの未来~

10年後の「食」や「生活」を体験することができるフェスティバル

未来の食フェス

スマドリ、ヴィーガン食、大豆ミートなど
10年後にはスタンダードとなるかもしれない
食文化を体験できるブース

未来を想起

自分自身の健康などの
10年後になっているかもしれない
生活を体験できるブース

4-2 実行委員会主催事業(Colors,Future!Summit 2024)

●実施結果まとめ

- カンファレンスは3会場で69名の登壇者による14のセッションを実施するとともに、未来の食フェスは飲食のお店を中心に未来を体験できるブースを合わせて計15ブース展開して、2日間で約2.3万人に会場いただき、川崎の未来を考えはじめるきっかけを提供しました。当日来られなかった方に向けて、カンファレンスの動画アーカイブを配信し、イベント終了後も川崎の魅力を発信しました。
- 「あたらしい川崎」を生み出す企画として、企業等のコラボレーションによる3つの新商品(①Colors,Future! Burger、②住吉の久寿餅ドーナツ、③秋の4大イベントの広報宣伝部長である「水溜りポンド」カンタ氏が監修した「ハーガーカヌレくんのカヌレ」)の開発と企業と市内音楽大学のコラボレーションによるオリジナルカクテルの開発を行い、新たな共創の取組を生み出しました。



【A会場】 オープニングセッションの様子



【B会場】 コーヒーセッションの様子



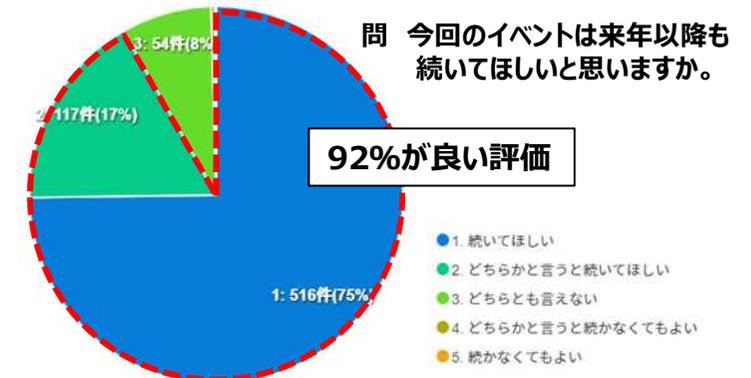
【C会場】 食のセッションの様子



【C会場】 未来の食フェスの様子



コラボ新商品



4-3 実行委員会主催事業（みんなの川崎祭）

市制100周年記念事業及び全国都市緑化かわさきフェアを契機として、道路や公園などの公共空間を活用し、川崎で活躍している方々を中心にさまざまな主体が連携しながら、居心地の良いウォーカブルな空間を生み出し、面による賑わい創出のイベントやみどりを身近に感じてもらえる仕掛け等を実施することで、川崎の魅力の向上を図るとともに、取組を広く発信し、市民のシビックプライドの向上やみどりのまちづくりの機運醸成を図るとともに、将来的な公共空間の効果的かつ持続的な活用を目指します。

●取組概要

2回目の開催となる令和6(2024)年度の「みんなの川崎祭」については、市役所通りの交通規制区域を片側3車線から両側6車線に、ハローブリッジから砂子交差点までだった範囲を川崎駅前東交差点までにするるとともに、新たに供用を開始した市役所本庁舎を活用するなど、イベント範囲を前年より拡大し、川崎で活躍する人たちによる多彩なスポーツ・音楽などのステージや体験、みどりを身近に感じる休憩スペースや飲食ブースの設置、環境に優しいサステナブルな取組や市民との共創等によるアート展示など、川崎を知って・関わって・好きになれるさまざまな取組を展開しました。



日時・場所：

令和6(2024)年11月3日(日)

- ・市役所通り(駅前から国道15号までの道路空間) 11:00-16:00
 - ※神輿パレードは 16:45-17:30
 - ※交通規制期間は 9:00-17:40
- ・川崎市役所本庁舎・第3庁舎 11:00-16:00
- ・稲毛公園 11:00-16:00
- ・ラゾーナ川崎プラザルーファ広場 15:00-18:00

実施主体：・川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア

実行委員会：川崎市

来場者数：約11万人



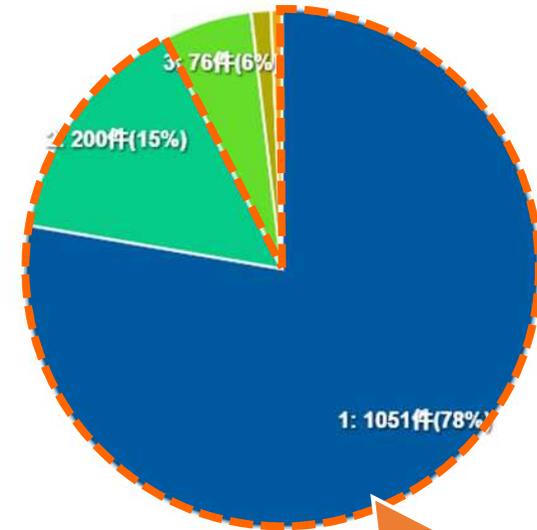
4-3 実行委員会主催事業（みんなの川崎祭）

●実施結果まとめ

当日は1日中好天に恵まれ、約11万人の方々に御来場いただき、道路上を歩行者が広々と使いながら、盛りだくさんのステージやさまざまなコンテンツをお楽しみいただき、当日実施したアンケートでも90%以上の方から、来年以降も続いてほしい旨の回答をいただきました。



アンケート：回答数1,353件
（みんなの川崎祭）
今回のイベントは来年以降も続いてほしいと思いますか。



- 1. 続いてほしい
- 2. どちらかと言うと続いてほしい
- 3. どちらとも言えない
- 4. どちらかと言うと続かなくてもよい
- 5. 続かなくてもよい

来場者の90%以上が来年以降も続いてほしい旨回答

4-3 実行委員会主催事業 (Colors,Future!Summit 2024・みんなの川崎祭等の連携開催)

●川崎駅周辺における一体的なイベント「川崎愛 遊びつくす 3日間」の実施

11月2日から4日にかけて、「Colors,Future!Summit 2024」「みんなの川崎祭」「川崎夜市」「かわむすのおんがえし」の4つのイベントが連携して「川崎愛 遊びつくす 3日間」として同時開催しました。



11/2(土)・3(日)



11/3(日)



11/2(土)・3(日)



11/2(土)~4(月・祝)

●一体的な広報の実施

- **ポータルサイトの制作**
連携イベントの公式ウェブサイトをつなぎ、ネット上の回遊性を高めました。
- **タブロイド誌/チラシ・ポスターの制作**
各イベントがバラバラに広報を行うのではなく、同じ広報物を手に取ってもらい、来場・周遊していただけるよう、共通のタブロイド誌を制作しました。
- **動画制作・デジタルサイネージ**
イベント全体の広報動画を制作して、川崎駅周辺のビジョンやデジタルサイネージを活用して、多くの駅を利用する方に広報を実施しました。
- **広報宣伝部長にインフルエンサーの起用**
「水溜りポンド」のcantax氏に4大イベントの広報宣伝部長に就任していただき、動画サイトやSNSなどさまざまな媒体で情報を発信しました。



4大イベントのポータルサイト



タブロイド誌【表紙・裏表紙】(20P・フルカラー)



4大イベントチラシ・ポスター



広報宣伝部長cantax氏の起用

4-4 実行委員会主催事業（かわさき脱炭素プロジェクト）

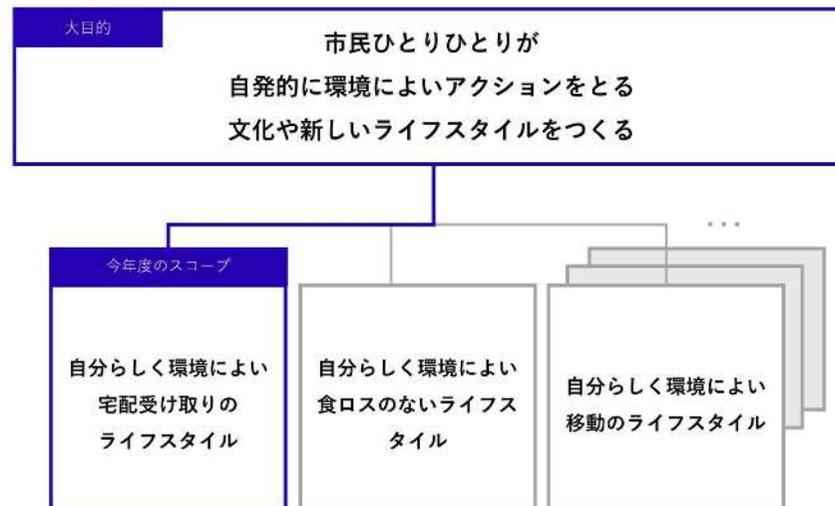
市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアを契機に、川崎市の脱炭素戦略(かわさきカーボンゼロチャレンジ2050)のもと、川崎で活動・活躍している企業・団体を中心に一層の連携を進めながら、市民や事業者が環境に良いアクションを行うことをより身近に感じられる事業を実施することで、市民のシビックプライドの向上や、サステナブルなまちづくりに向けた機運醸成を図るとともに、一人ひとりが自発的に環境に良いアクションをとる文化や新しいライフスタイルの形成を目指して実施しました。

●取組概要

令和6(2024)年度は、脱炭素プロジェクトの先行的取組として「宅配再配達削減」エコアクションの推進・普及に取り組み、宅配分野における市民の自発的な行動変容につながる仕組みについて検証を行うとともに、本検証より得られた結果から、脱炭素で注目を集めている他分野への展開、また、さまざまな事業主体とのさらなる共創モデルの構築について検討を進めました。

●目的と全体像

脱炭素プロジェクトの目的と全体像



4-4 実行委員会主催事業（かわさき脱炭素プロジェクト）

●「宅配再配達削減」エコアクションの取組概要

脱炭素プロジェクトの先行的取組として実施する「宅配再配達削減」エコアクションは、宅配便ロッカー(PUDOステーション)の利用促進により、宅配再配達を減らすことで、CO2の削減を目指すとともに、市民の環境意識の向上、行動の継続を図ることを目的としています。令和6(2024)年度は、市内15か所の宅配便ロッカーに地球環境問題等を周知するラッピング等を行い、市民に広く広報・周知を行うとともに、宅配便ロッカー利用者に川崎ゆかりの特典を提供するキャンペーンを実施し、初めての利用や継続利用を促しました。さらに、地図上に木と顔アイコンが増える仕掛けで宅配便ロッカーの利用数が見える化するするとともに、CO2排出削減量の可視化を行い、これらの取組を通じ、環境に良い宅配受け取りのライフスタイルを目指しました。

- ・実施期間：令和6(2024)年6月17日(月)～8月31日(土)
- ・実施主体：ヤマト運輸、Packcity Japan、富士通、川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
- ・実施概要：環境行動変容(オープン型宅配ロッカー利用)を促進するため、以下の取組を推進

広報・周知

宅配便ロッカーのラッピング等を通じて地球環境や物流の社会課題を楽しくわかりやすく周知



利用促進キャンペーン

「行動のきっかけ」となるインセンティブ(特典)を提供するキャンペーンを展開



効果可視化

結果(宅配便ロッカーの利用数やCO2排出削減量)が直感的に見えるダッシュボードで動機づけ



●実施結果まとめ

- ・キャンペーン期間を通じ、宅配便ロッカーの利用により、市全体で13,606kgのCO2を削減しました。
- ・キャンペーン応募者のうち、これまで「荷物」の受け取りで宅配便ロッカーを利用したことがなかった人が40%を占め、初めての利用を促すことができました。

4-5 実行委員会主催事業（音楽プロジェクト）

溝口駅前キラリデッキに誰もが楽しめるオープンな空間を設け、音楽を通じた地域社会の活性化とオープンスペースで活動ができる場の創出にチャレンジし、多彩な文化・芸術活動の場の提供を通じてできた「人のつながり」から活力とおいしいのある地域社会づくりを目指し取組を進めました。

●取組概要

➤「ここから未来プロジェクト推進協議会準備会」の設立及び「キラリデッキステージ」の設置

ステージの管理やイベントの企画・運営を担う団体「ここから未来プロジェクト推進協議会準備会」を地域の方々に立ち上げ、令和6(2024)年11月に、木の温もりが感じられる「キラリデッキステージ」を設置しました。

➤こけら落としイベント「ここから未来フェスタ in 溝の口 ～あなたも街の音楽家～」の開催

日時：令和6(2024)年11月9日(土) 10時45分～17時50分

内容：①オープニングセレモニー

②ステージイベント(地元のキッズダンススクールや洗足学園音楽大学学生など14組が出演)

来場者数：約2,000人

連携イベント：11月10日(日)に洗足学園音楽大学学園祭と連携して、同学園前田ホールにて、「LINDBERG ここから未来プロジェクト応援ライブ “かわさきでもっと愛し合いましょ”」を開催

➤ステージ利用の実証実験等の取組

こけら落としイベントの出演者にアンケート調査を行うとともに、川崎市主催イベント等の実施による実証を重ねるなど、キラリデッキステージのより快適な利用環境の提供や、発表や練習場所として一般の方にも広く利用していただけるような利用ルールの設定に向けた取組を進めました。

＜ステージ利用の実証の取組事例＞

- ① まるっとサステナファッションショー 11/16(土)11時～16時(川崎市主催)
- ② Midori-ba FES in MIZONOKUCHI 11/16(土)17時～20時(川崎市後援)
- ③ テレビ番組収録会場等としての活用(テレビ神奈川「LOVEかわさき」、NHK「首都圏ネットワーク」) 他



キラリデッキステージの位置



キラリデッキステージ

4-5 実行委員会主催事業（音楽プロジェクト）

●「こけら落としイベント」や「ステージ利用実証実験」の様子



ダンスチームによるパフォーマンス



バンド演奏



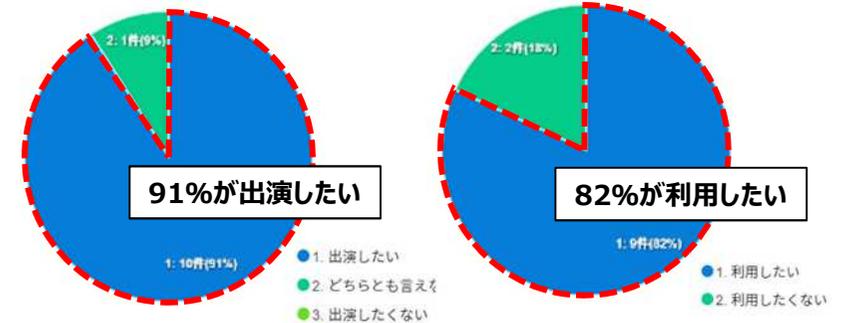
実証①「まるっとサステナファッションショー」



実証②「Midori-ba FES」

イベント出演者アンケート調査結果

①またイベント出演したいですか？ ②一般利用したいですか？



●実施結果まとめ

- 市による喫煙所の移転や植栽・ウッドベンチ設置等のキラリデッキリニューアルの取組も進み、キラリデッキ上の憩いの空間創出に繋がっています。
- イベント時は、通行者等がステージ前まで見に来てくれたりと、自然と人が集まる場所になっている。また、出演者へのアンケート結果でも「またイベント出演したい」、「発表会用にステージを一般利用したい」との回答が多く、音楽やダンスを行うパフォーマーにとっても魅力的な活動場所となりました。

4-6 実行委員会主催事業（みどりの共創プロジェクト）

全国都市緑化かわさきフェアの開催を機に、『みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち』の実現を目指す取組として、企業、団体等の多様な主体の共創による、みどりを通じた自発的な取組がスタートしました。

『コミュニティ×みどり』をテーマに、公園など場所を決めてみどりを育てる体験のできる「グロウガーデン」の取組や、トラックなどを使用して場所を制限せずに身近にみどりに触れる機会を創出する「トラックガーデン」の取組において、様々な体験の提供やワークショップを実施し、みどりとのふれあい、人と人とのつながり、コミュニティをはぐくみました。

●令和6年度取組概要

日時：

- ・グロウガーデン：各拠点で月1回程度
- ・トラックガーデン：各地で開催
(※うちかわさきフェア会期中に2回実施)

場所：

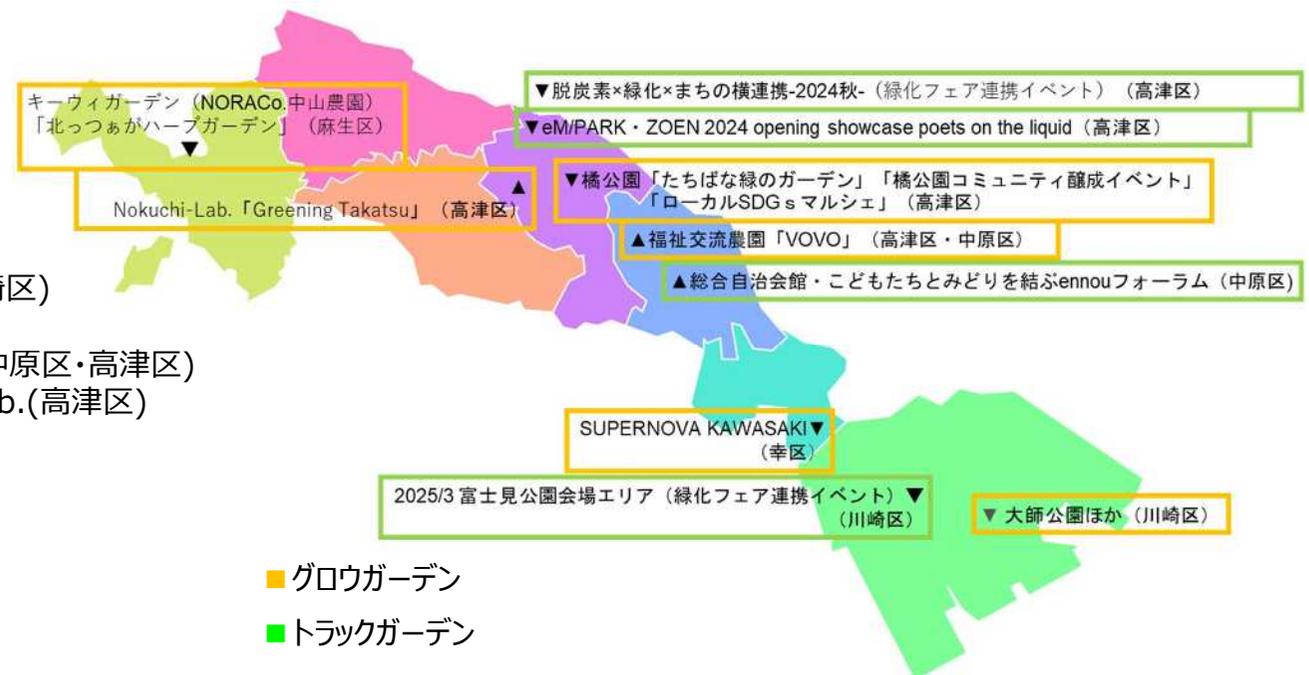
- ・富士見公園会場エリア・大師公園ほか(川崎区)
- ・SUPERNOVA KAWASAKI(幸区)
- ・総合自治会館・福祉交流農園「VOVO」(中原区・高津区)
- ・橋公園・溝口駅・eM/PARK・Nokuchi-Lab.(高津区)
- ・キーウィガーデン(麻生区)

開催実績：

- イベント実施回数：59回
- イベント総参加者数：約11,000人

実施主体：

- 9つの企業・団体がプロジェクトに参画
(令和6(2024)年12月に任意団体「midori-ba」を設立)



4-6 実行委員会主催事業（みどりの共創プロジェクト）

● グロウガーデンの取組事例

【農体験】

作物の育成を通じて、土に触れ、自然に親し
みを持ち、食物の大切さを知る取組



サツマイモ植付け～やきいも体験
@日進町こども文化センター、大師公園

【自然体験】

自然素材を使った作品づくりなどの体験プログラム



公園にある自然素材などを使ったクリスマスリースづくり
@橘公園

【みどりのオープンスペース体験】

みどりのオープンスペースの魅力を引き出し、
地域コミュニティ醸成を図るイベント・マルシェ



たき火によるアウトドア体験
@橘公園

● トラックガーデンの取組事例 midori-ba Fes in溝ノ口(秋フェア連携)

溝口駅前キラリデッキに新しくできたステージ等を活用した
みどりの社会実験を実施し、緑化に関する意識醸成、フェア
及び”midori-ba”の認知向上を図りました。
(環境局における脱炭素アクションの取組とも連携)



ステージを緑化し、音楽と共演



みどりに関わる出展、WS実施

@溝口駅前キラリデッキ

● 実施結果まとめ

- ・イベントの参加者が取組に興味を持ち、イベントの出展者側に回る事例も出てくるなど、みどりを通じた行動変容が起きました。
- ・野菜の育成や自然体験等を通じて、参加した親子や参加者同士のコミュニケーションが深まりました。
- ・トラックガーデンによるオープンスペースにおける緑化の創出により、緑化に関する意識醸成につながりました。

4-7 実行委員会主催事業(未来っいいいな☆まつり ～夢を集めて川崎100周年～)

市制100周年の取組の中で位置付ける「市制100周年の取組を未来へつなぐ」期間に、記念事業でチャレンジしたActionや向上したシビックプライドを未来へつないでいくため、「あたらしい川崎」を担う子どもたちをターゲットに、取組の核である全国都市緑化かわさきフェア(春)と連携しながら、子どもたちの川崎への愛着と誇りを生みだすことを目指しました。

●取組概要

「未来っいいいな☆まつり～夢を集めて川崎100周年～」は、川崎の未来を担う子どもたちの心に残るイベントとし、川崎への愛着と誇りを生みだしていくため、世界的に著名な漫画家「藤子・F・不二雄」氏のミュージアムが川崎にあることを生かし、22世紀の未来からやってきた「ドラえもん」を本イベントのメインキャラクターとして起用しました。

本イベントでは、100周年のフィナーレを飾るイベントとして、川崎市の魅力的なコンテンツを生かしながら、市民参加型のパレードを実施しました。加えて、100周年の取組を振り返るブース出展、市内企業と連携した未来を感じられる体験型ブース出展、体験を記憶や記録に残すための藤子・F・不二雄キャラクタースタンプラリーなどを実施しました。

日時・場所：

開催日：令和7(2025)年3月29日(土)・30日(日)

場所：全国都市緑化かわさきフェア

等々力緑地会場 催し物広場等

※29日は、雨天により等々力陸上競技場の屋根付きスペースで実施

実施主体：川崎市市制100周年記念事業・

全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

来場者数：約32,000名(2日間計)



4-7 実行委員会主催事業(未来っいいいな☆まつり ～夢を集めて川崎100周年～)

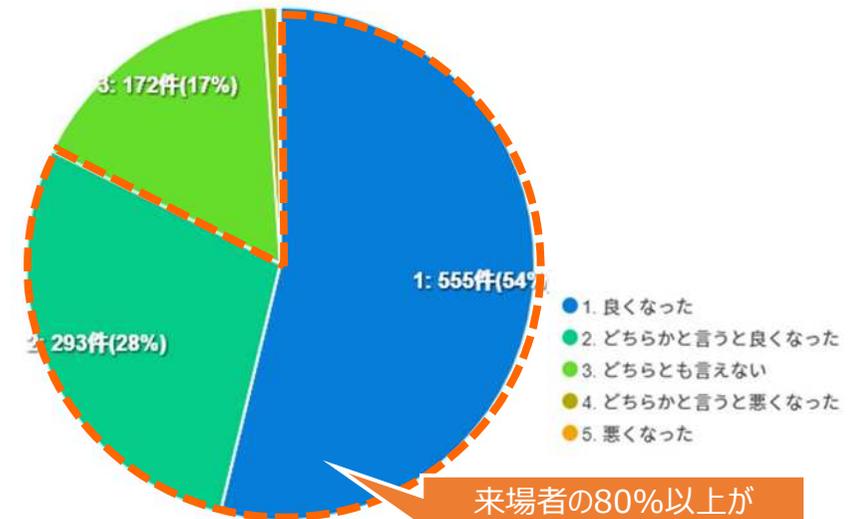
●実施結果まとめ

3月29日(土)は雨天により、来場者数が伸び悩みましたが、3月30日(日)は晴天となり、予定通り、催し物広場でパレード等を実施。ステージ前や沿道には多くの人が集まり、大いに盛り上がりました。また、自分の塗り絵が3Dモデルになる飛行機レースをはじめとした、市内企業と連携した未来を感じる体験型のブースやフォトスポットなど、どこも多くの人でにぎわっており、2日間で約32,000人の方に来場いただくことができました。

こうした取組により、川崎のことを楽しみながら知っていただくとともに川崎の未来を感じていただき、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とすることができました。また、藤子・F・不二雄キャラクタースタンプラリーでスタンプをすべて集めた方が約1,500名ほどおり、川崎都市緑化かわさきフェアが開催されている等々力緑地会場全体の回遊を促進しました。



アンケート：回答数1,031件
(未来っいいいな☆まつり)
今回のイベントや100周年に関する取組で、川崎のイメージは良くなりましたか。



来場者の80%以上が川崎のイメージが良くなった旨の回答

4-8 実行委員会主催事業（提案型事業・まんなかフェス）

まんなかフェスは、市内で活躍する女性が中心となって立ち上げた「まんなかフェス実行委員会」が、「武蔵小杉でママや家族も安心して楽しめる場所・機会をつくりたい」という思いのもと、平成30年から武蔵小杉駅周辺で毎年実施しているイベントです。横のつながりが持てずに孤立して活動しているママたちに、子どもたちと一緒に楽しめる遊び場、息抜きできる場、交流ができる場を提供し、活動を知って、楽しんで、「私も！」と社会参加の第1歩を踏み出す機会となることを目指して取り組みました。

●「まんなかフェス2024」開催概要

「まんなかフェス2024」は、令和7年度以降の継続を見据えて一般社団法人を設立し運営母体を強化した「まんなかフェス実行委員会」が、全国都市緑化かわさきフェアを意識した『花や緑』をテーマとして、市内で活躍するハンドメイドショップや飲食店を集めたマルシェ&ワークショップ、音楽・ダンスステージを開催しました。また、市制100周年のメモリアルな機会をみんなで一緒に祝えるように、武蔵小杉駅周辺で過去最大級の市民参加型の音楽パレード(風とリズムのパレード)にチャレンジし、参加者、来場者全員にとっての忘れ得ない体験、川崎への自信、愛着を持てる機会の創出を図りました。

開催日

令和6年9月28日(土)、29日(日)10:00~17:00
※パレード開催日は、9月28日(土)

マルシェ& ワークショップ

市内で活躍する飲食店や、ママも一緒に楽しめるワークショップ等が出展しました。

音楽・ダンス ステージ

市ゆかりのアーティストを公募し、音楽やダンス等でイベントを盛り上げました。

市民参加型の 音楽パレード

市内のダンス・音楽スクールのメンバーでパレードを盛り上げ、多くの市民の方に体験してもらえる市民参加型のパレード(風とリズムのパレード)を実施しました。

会場

こすぎコアパーク/市道小杉町21号線・210号線/
東電私道/ コスギ サードアヴェニュー サウスパーク



4-8 実行委員会主催事業（提案型事業・まんなかフェス）

●「まんなかフェス2024」開催結果

マルシェ&ワークショップ 音楽・ダンスステージ

2日間で計101のブース出展と26グループの音楽・ダンスステージパフォーマンスで賑わった会場は、親と子どもたちが一緒に遊んで楽しめる空間となりました。2日目の29日は途中雨に見舞われましたが、全コンテンツを予定どおり実施し、2日間で延べ6万人が来場しました。



歩行者空間にした道路にブースを出展



ダンス・音楽スクールの子どもたちによるステージパフォーマンス



パレードで持つ楽器制作ワークショップに参加する子どもたち

風とリズムのパレード

一時的に車両通行止めとして、約20分間行われた市制100周年を記念したパレードには、事前に実施した楽器制作ワークショップに参加した市民約80人に加え、ダンスや音楽を奏でるメンバーを合わせた総勢約200名が参加しました。パレードの沿道には、観覧者が約5,000人ほど集まるなど、多くの参加者と観覧者で市制100周年を祝いました。



手作り楽器を持ってパレードを楽しむ子どもたち



リズムを奏でながらパレードする洗足学園音楽大学の皆さん



花と緑をイメージした衣装でパレードを楽しむ参加者

4-9 実行委員会主催事業（提案型事業・子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト）

子どもたちが地域の産業や文化に触れ、自らのアイデアでエコでクリーンなまちづくりを実現する場を提供することなどにより、子どもたちの主体性とリーダーシップを育成し、持続可能な社会の実現を目指しました。

●取組概要

イベント名	日時	場所	事業内容
① こどものまち仕事体験イベント (ミニたまゆり※)	令和6年 11月16日(土)・17(日) 10:00～16:00	田園調布 学園大学	子どもたちが地域産業や文化を体験できる場や主体的にまちづくりに参加する場を提供する
② 共創子ども会議	令和6年6月～10月まで 全6回開催		市内の小中学生を対象とした「こどものまち仕事体験イベント(ミニたまゆり)」の準備をする子どもたちによる会議。 こども-大学生-企業・団体の3者が連携して仕事体験の内容等を検討
③ 世界こども地域合衆国サミット	令和6年11月17日(日) 13:00～15:00		ドイツ、ウクライナ、日本全国の子どもの代表を集めた国際会議を開催
④ メタバース×リアル謎解きツアー	メタバース= 令和6年7月～12月 リアル= 令和6年7月27日～8月31日	メタバース空間 7区の公園等	川崎に因んだ「謎解きツアー」をメタバース×リアルで開催

●提案・共創事業者

田園調布学園大学、一般社団法人デジタル田園都市国家構想応援団、NPO法人ミニシティ・プラス、CHEERS株式会社、一般社団法人 SDGs Innovation HUB、一般社団法人CePiCみんなの地球公園国際コミュニティ

※ミニたまゆり

ドイツのミニ・ミュンヘン子どものまちを参考にした子どもたちのためのイベント。平成17(2005)年から田園調布学園大学が中心となり開催
田園調布学園大学の最寄り駅のたまプラーザ駅・百合ヶ丘駅にちなんで命名

4-9 実行委員会主催事業 (提案型事業・子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト)

●実施結果まとめ

(1) こどものまち仕事体験イベント(ミニたまゆり)

市内のさまざまな企業の仕事を体験することを通じて、自分が住んでいるまちへの理解と愛着を育みました

日時 : 令和6(2024)年11月16日(土)・17日(日) 10:00～16:00

場所 : 田園調布学園大学キャンパス

対象 : 5歳～15歳・保護者等

参加者数 : 約1,800人

出店企業・団体数 : 26団体(うち実行委員会参画団体は5団体)

仕事体験内容 : 銀行、宅急便、テレビ局、ユーチューバー、食品サンプルづくり、宅急便など



(2) 共創こども会議

こども-大学生-企業・団体の3者が連携して、市内の小中学生を対象とした「こどものまち仕事体験イベント(ミニたまゆり)」の内容等を検討しました(全6回、延べ参加人数約450人)



(3) 世界こども地域合衆国サミット

ドイツやウクライナの子どもの代表、全国の「こどものまち」の代表を招待して開催しました。川崎市の子どもへの取組や各地域の取組を紹介し、議論を行いました

日時 : 令和6(2024)年11月17日(日) 13:00～15:00

場所 : 田園調布学園大学、メタバス等

参加者 : 約20名(全国10の「こどものまち」の代表者、ミュンヘン及びウクライナの代表者等)

来場者数 : 約300人(こどものまち参加者及びオンラインを含む)



(4) メタバス×リアル謎解きツアー

川崎市の企業や文化等に因んだ「謎解きツアー」をメタバス×リアルで開催しました

日時 : メタバス = 令和6年7月27日(土)～12月末、リアル会場 = 令和6年7月27日(土)～8月31日(土)

場所 : メタバス空間、リアル会場 = 富士見公園、大師公園、夢見ヶ崎動物公園、等々力緑地、橘公園、鷺沼公園、生田緑地、王禅寺ふるさと公園 ほか

アクセス数 : 約4,600

5 川崎市主催事業

市主催事業は、川崎市の各局区が所管する施策・事務事業に取り組む中で、市制100周年を契機として、一步先を目指す+αのチャレンジを行うものです。令和5(2023)年度は準備期間として、令和6(2024)年度の記念事業を見据えたプレイベントや機運醸成に向けたPRなどに取り組み、令和6(2024)年度については、「市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組」、「市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組」など、各局区において、さまざまな記念事業を効果的に展開しました。今後、100周年の祝賀感や機運の醸成のために既存事業の規模を拡大して行った取組等については、例年ベースの取組に戻すことを基本としながら、より一層の課題解決や新たな価値の創出にチャレンジしたことで生み出すことができた「新たな取組」や「新たなつながり」について、事業の性質に応じた効果的な形で、記念事業のレガシーとして川崎市の取組推進に生かしていきます。

【令和6(2024)年度取組】(158事業)

○市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組 (28事業)

さまざまなイベントにおいて、市制100周年を記念した特別な事業を展開しました

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組 (49事業)

各区における地域の特徴や資源等を活かした特徴的な事業を展開しました

○これからの100年を担う若年層への取組 (30事業)

子どもたちの成長・発達段階に応じて、市制100周年記念事業を実施しました

○市制100周年のPR及びさまざまな取組 (51事業)

さまざまな機会を捉えながら、川崎の歴史を踏まえた市制100周年のPR等を実施しました

5 川崎市主催事業（令和6(2024)年度における記念事業の実施状況）

○市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組

●実施事例

「かわさき多摩川マラソン」の誰もが参加できる大会に向けた取組【市民文化局】

令和6(2024)年11月17日に等々力陸上競技場をメイン会場として「かわさき多摩川マラソン2024」を開催しました。ハーフマラソンやファミリーファンランニングなどに加え、2人1組で参加し合計タイムを競うペアランニング部門を新設するとともに、昨年度、100周年記念プレ事業として新設した車いすランや未就学児部門などを拡充し、世代や障害の有無に関わらず、誰もが参加でき、楽しめる大会として開催しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

令和7年度以降も引き続き、車いすランや未就学児部門、ペアランニングの種目を設けるなど、100周年を契機として始めた取組を継続して実施し、誰もが楽しめるインクルーシブな大会として開催することで、多様性を認め合い、つながりあえる機会を創出していきます。



市役所通りのライトアップ【建設緑政局】

空間を高質化し、都市イメージの向上やシビックプライドの醸成を図るため、全国都市緑化かわさきフェア富士見公園会場へのアクセス路となる市役所通りの銀柳街及び銀座街との交差点から国道15号までの区間において、照明設置工事を行い、令和6(2024)年10月16日に再生可能エネルギーを活用したイチョウ並木のライトアップの点灯を開始しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

本市の目抜き通りである市役所通りのライトアップによる空間の高質化を継続するとともに、引き続き、ホームページ等により再生可能エネルギーの活用について発信し、市民の環境や脱炭素の取組への関心を高めていきます。



市制100周年記念「市制記念多摩川花火大会」【経済労働局】

令和6(2024)年10月5日に多摩川河川敷で開催し、会場には約21万人が来場しました。市制100周年を記念し、10,000発に増発するとともに、市民等から寄せられたメッセージ用紙を花火玉の包み紙として使用する「メッセージ打上花火」や市内の未就学児が描いた花火のイラストを再現する「こどもイラスト花火」を実施し、YouTubeで同時動画配信も行うことで、多くの市民が参加できる大会となりました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

物価上昇等を理由に開催を中止する花火大会が増えてきている中、「ふるさと川崎」の意識の高揚と豊かな市民文化の創造をレガシーと捉え、クラウドファンディングを令和6年度に続いて実施するなど、令和6年度の取組を踏まえながら、秋の風物詩となった多摩川花火大会の伝統をつないでいきます。



5 川崎市主催事業（令和6(2024)年度における記念事業の実施状況）

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組

●実施事例

市制100周年記念「さいわいにぎわいフェス」【幸区役所】

令和6(2024)年9月27日、28日に、川崎駅西口周辺で、周辺事業者や地元町内会、商店街等と連携し、事業者の施設や公開空地、公共空間などを活用しながら、企業や地元町内会等の地域の強みを活かしたコンテンツを展開し、地域手作りのイベントとして「さいわいにぎわいフェス」を実施しました。また、アフターフェスとして翌29日に、イベント会場の美化活動を行い、更なるまちのにぎわいにつなげました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

令和7年度についても、9月末の開催に向けて検討を進めています。このように、令和7年度以降も事業を継続することで、100周年を契機に構築した、川崎駅西口周辺の事業者や地元町内会等との連携をより深めるとともに、将来的に地域が主体となり事業を実施できるよう進めていきます。



市制100周年記念「芸術・文化魅力発信事業」【麻生区役所】

市制100周年を記念して映像作品「あさお誕生ものがたり」を制作、令和6(2024)年10月12日のあさお区民まつりのプレイベントで上映し約250人が参加しました。また、同日夜に「しんゆり野外シネマ」で新百合ヶ丘エルミロードの壁面にダイジェスト版等を映し、約300人が鑑賞する等さまざまな団体と連携した上映会を開催し、更なる芸術・文化のまちづくりの推進を図りました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

令和7年度についても、11月29日に地域資源の「アート」と「テクノロジー」のイベントの開催に向けて検討を進めています。このように、多様な主体がつながる契機となり、地域の魅力を高め愛着を深めるとともに芸術・文化のまちづくりの更なる推進につながるため、今後も取組を継続・発展させていく予定です。



鷺沼駅周辺における、多様な主体と連携した公共空間づくり【まちづくり局】

令和6(2024)年10月6日に鷺沼駅前において、鷺沼駅前の再開発事業の進捗を見据えながらさぎ沼商店街及び東急株式会社と連携し、公共空間等を活用した「さぎ沼まつり」を開催し約16,000人が参加しました。また、2月にも引き続き駅前広場活用及び公共機能の魅力発信につながる実証実験（本を題材としたイベント）「ぶくぶく(BOOK BOOK)」を2月14日、15日に実施し、約2,000人の来場者でにぎわいました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

令和7年度についても、公共空間等を活用したイベントの実施に向けて検討を進めています。人と人、人とまちのつながりを生み出し、鷺沼地区の魅力をより一層向上をしていくことがレガシーだと考え、今後も引き続き、地域で活躍する方々と連携し公共空間等を活用したイベントを実施していきます。



5 川崎市主催事業（令和6(2024)年度における記念事業の実施状況）

○これからの100年を担う若年層への取組

●実施事例

学校e〜ね★サミット【教育委員会】

全市立学校の子どもたちがブランドメッセージを学び、キャリア在り方生き方教育の視点の一つの「わたしたちのまち川崎」の充実を図りました。学校や地域の特色をスライドにまとめ、GIGA端末で公開し、各学校において他校の取組を学びながら交流、地域発信を行うとともに、令和6(2024)年10月23日にグランツリー武蔵小杉で参加校8校による全市交流会を実施し、川崎を改めて「知って、関わって、好きになってもらう」機会としました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

今回の取組をレガシーとして交流サイトや全市交流会の仕組みを継続し、各学校で多様な教育活動を効果的に実践できるよう特色ある教育課程のカリキュラム・マネジメントに取り組み、「キャリア在り方生き方教育」のより一層の充実を図ることで、児童生徒の持続可能な社会の創り手としての資質・能力の育成を目指していきます。



美味しく郷土の味を知り、歴史と食を学ぶ取組【こども未来局】

市内保育施設において、川崎にちなんだ給食献立の提供を年間を通じて行い、かわさきそだちの農作物10種類の紹介と新メニュー6品を作成しました。また、川崎にちなんだ給食レシピコンテストを開催し、受賞作6品は令和7年8・10・12月・令和8年2・3月の給食で提供予定です。他にも食育紙芝居の作成・配布や、のらぼう菜普及のための取組等を実施し、まちに対する興味・関心を深める機会を提供しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

100周年を契機に考案したレシピや紙芝居を市内保育施設で継続して使用するとともに、こうした乳幼児の食に関する広報媒体としてホームページを製作し、考案したレシピを活用したレシピブックを作成するなど、これらの取組を掲載し、川崎の食文化と歴史を次世代に継承していきます。



若者文化を加速させる世界レベルのストリートの祭典【市民文化局】

川崎の若者文化を発信するため、令和6(2024)年11月23日、24日にラゾーナ川崎周辺及びラチッタデッラで世界レベルのストリートの祭典「①International Street Festival KAWASAKI」をダブルダッチの大会の国際化や五輪選手による体験会・トークショーなど、各コンテンツを充実させて開催し、10月27日には川崎ルフロンでダンスコンテスト「②LeFRONT杯」を新たにソロ部門を創設して開催しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

国際大会の開催や興味を持った子どもたちがアーバンスポーツを体験できる場の提供等を通して若者が挑戦・活躍できるまちづくりを進め、国内外に発信することがレガシーだと考え、時代に合わせて変化する若者文化に対応しながら、これらの取組を継続していきます。



5 川崎市主催事業（令和6(2024)年度における記念事業の実施状況）

○市制100周年のPR及びさまざまな取組

●実施事例

画像のオープンデータ公開【総務企画局】

令和6(2024)年6月4日に、「かわさき魅力ギャラリー」として1,500枚の川崎の魅力的な写真をオープンデータで公開しました。さらに、市主催等のフォトコンテストや市制100周年記念事業等、市内で撮影された新たな写真のオープンデータ化に向け、調整を図りました。また、新たに追加する写真59枚を撮影しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

令和7年度は令和6年度に撮影した写真を追加し、充実化を図ります。今後も当サイトをギャラリーのように見て楽しめるものにするとともに利用者の利便性を高め、川崎をあらためて知って、更に好きになってもらえる機会を提供していきます。



川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展【環境局】

川崎の環境に対する市民の誇りを育み、脱炭素社会の更なる実現に向けた契機としていくため、環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化し令和6(2024)年11月20日からウェブサイト公開しました。また、「川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展」を全国都市緑化かわさきフェア等で実施するとともに、同年8月6日にかわさき宙と緑の科学館の展示会場内で小学生向けのワークショップを開催しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

記念事業をきっかけに取り組んだ企画内容を今後も活用できるよう、市民・事業者からもコンテンツを募集し、デジタルアーカイブを追加・拡充するとともに、企画展の内容についても一体的にデジタル化し、環境学習用教材としても活用できるものとしていきます。



人生100年時代に備える地ケアフェア【健康福祉局】

令和6(2024)年12月8日に市役所本庁舎で「まちのひろばフェス」と合同開催し、約1,000人が来場しました。在宅医療等に関する講演や「ほっこりポスター」に登場する方々によるパネルディスカッションのほか、地域包括ケアシステム連絡協議会の参画団体協力の下、健康チェックや相談など様々なブースを設置し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を知る機会を提供しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

100周年を契機に、市民向けの啓発を目的とする講演を主とした「市民シンポジウム」から発展させることで、より多くの方に気軽に参加いただくとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた多様な主体のつながりの場になりました。今後も多様な主体の参画により、誰もが安心して暮らせる地域の実現に向けて取組を進めていきます。



6-1 実行委員会参画団体主催事業

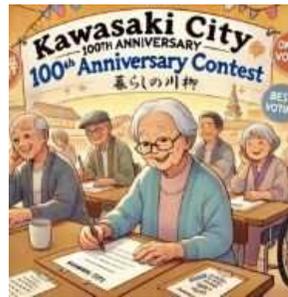
実行委員会参画団体が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げるとともに、「Colors, Future! Actions」の取組が市全体に広がっていくよう機運醸成を図っています。登録いただいた事業について、公式WEBサイトでの発信や特集記事化、メールマガジンやニュースター、ラジオ番組の活用など、多様な広報媒体にて積極的にPRしました。

●登録事業数：287件

【取組事例】



川崎市のオープンデータを用いた
データ分析コンペの開催
(富士通株式会社×川崎市)



「花とみどり」をテーマに川柳を募集、
WEB投票で優秀作品を表彰
(川崎市老人福祉施設事業協会)



100周年を記念した
1万発の打上花火
(川崎市×市観光協会)



100周年を記念して
あじ祭りに2000人を招待
(味の素株式会社
川崎事業所)



100周年を祝う田んぼアート
(JAセレサ川崎)



市ゆかりの他ジャンルと
コラボしたコンサート開催
(東京交響楽団)



学生が15のActionテーマを網羅した広報番組を制作
(専修大学)

6-2 パートナー主催事業

市民や実行委員会に参画していない企業、団体等が、記念事業に参加できるしくみとして「パートナー制度」を設け、記念事業の趣旨に賛同する多くの方が自ら事業を実施し、オール川崎市で市制100周年を盛り上げていただきました。

●登録事業数 151件

【取組事例】



記念茶販売
(株式会社つな川)



「川崎市市制100周年記念焼のり缶」
「かわさき 香辛子海苔」限定パッケージ販売
(海苔問屋 高喜商店)



「100周年ステッカー、のぼり旗」
店頭設置
(株式会社ファミリーマート)



100周年コースター企画
(市内外17飲食店)



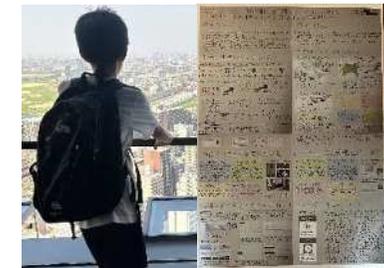
ご当地アイドル「川崎純情小町☆」
が川崎市の100の魅力発信
(株式会社ホワイトウルフ)



川崎市市制100周年を勝手に祝う市
民フォーラム
(川崎市市制100周年を勝手に祝う
市民フォーラム実行委員会)



語りつごう！かわさきのむかし話
(かわさき民話を愛する会)



小学5年生があたらしい川崎の
ために自らアクションにチャレンジ
(麻生区の小学5年生)

6-3 市民、企業、団体等の機運醸成

実行委員会参画団体の記念事業への参加を促し、参画団体同士のつながりを創出する場として令和6(2024)年8月に交流会を開催し、参画団体の主体的な取組や参画団体間の連携促進を図りました。また、年間を通じて展開される記念事業については、WEBサイトやニュースレターなどでタイムリーに発信し、市民、企業、団体等の機運を醸成しました。

交流会の様子(81団体・104名が参加)



公式WEBサイト



イベントカレンダー

ニュースレター



7 広報について

● 取組の核と連動した集中的な広報の実施

記念事業期間における広報は、**広報のコンセプト「知って、関わって、好きになってもらう」**に沿って、時期ごとに設定した「取組の核」と連動した広報集中期間を設け、事業と広報を一体的に展開しました。

令和5年度 準備期間	令和6(2024)年4月～7月 先人への感謝とともに 市制100周年を祝う期間	令和6(2024)年8月～11月 みんなで100周年を 盛り上げる	令和6(2024)年12月～ 令和7(2025)年3月 市制100周年の取組を 未来につなぐ
知ってもらおう広報		関わって、好きになってもらう広報	
取組の核	市制100周年記念式典	Colors,Future!Summit 全国都市緑化 かわさきフェア(秋)	全国都市緑化 かわさきフェア(春)
広報集中期間	3～4月 記念事業期間突入 かわさきフェア春開催1年前 6～7月 市制100周年記念式典	9～11月 全国都市緑化かわさきフェア (秋)開催 Colors,Future!Summitなど	2～4月 全国都市緑化かわさきフェア (春)開催

7 広報について

【主な取組①】 市制100周年メインビジュアル・バリエーションビジュアルの活用

●メインビジュアル



これからはじまる
Colors, Future! Actions
さあ、いっしょに。

100th

2024年、川崎市は市制100周年

メインビジュアルは、「市制100周年」を
ダイレクトに表現し、さまざまな広報物に活用
しています。

●バリエーションビジュアル

バリエーションビジュアルは、まちなかで生み出される
様々な「アクション」の写真を活用し、メインビ
ジュアルとセットでデジタルサイネージやシテイドレ
ッシングなどで展開しています。



鉄の神。鉄の誓い。川崎。



この日で市制100周年の歴史を、先づいては走り出した。運命
の交差点。今は、歴史を語り継ぎ、未来を創り出す。川
崎の未来を共に築いていく。さあ、いっしょに。

2024年、川崎市は市制100周年



作成した10種類のバリエーションビジュアル



歓喜はココロの換気なんだ。川崎。



この日で市制100周年の歴史を、先づいては走り出した。運命
の交差点。今は、歴史を語り継ぎ、未来を創り出す。川
崎の未来を共に築いていく。さあ、いっしょに。

2024年、川崎市は市制100周年



走るレーン。誰にでもある。川崎。



この日で市制100周年の歴史を、先づいては走り出した。運命
の交差点。今は、歴史を語り継ぎ、未来を創り出す。川
崎の未来を共に築いていく。さあ、いっしょに。

2024年、川崎市は市制100周年



本気で遊ぶ。徹底的に遊ぶ。川崎。



この日で市制100周年の歴史を、先づいては走り出した。運命
の交差点。今は、歴史を語り継ぎ、未来を創り出す。川
崎の未来を共に築いていく。さあ、いっしょに。

2024年、川崎市は市制100周年



育て。好奇心の翼。川崎。



この日で市制100周年の歴史を、先づいては走り出した。運命
の交差点。今は、歴史を語り継ぎ、未来を創り出す。川
崎の未来を共に築いていく。さあ、いっしょに。

2024年、川崎市は市制100周年



7 広報について

【主な取組②】 主要駅周辺等のシティドレッシング

市制100周年のメインビジュアル・バリエーションビジュアルを活用するとともに、フェア期間中はフェアの広報物と入れ替えながら市内各主要駅周辺を中心に広報物を掲出しました。



川崎駅



鹿島田駅



武蔵小杉駅



武蔵溝ノ口駅



鷺沼駅



登戸駅

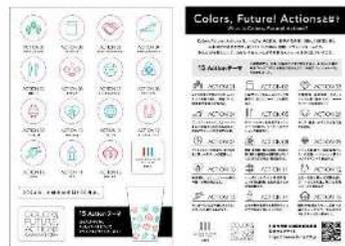


新百合ヶ丘駅



緑化フェア広報

【主な取組③】 ノベルティグッズ・広報物の活用



Actionラベルシール



コースター

※市制100周年をPRしていただける市内飲食店を募集し、飲食店発の機運醸成の取組を推進



ステッカー

※参画団体の社用自動車・自転車に貼ってPRしていただくなど、参画団体も市制100周年のPRに協力



7 広報について

【主な取組④】 参画団体等と連携した広報

実行委員会参画団体などの協力で、各企業・団体の媒体を活用したオリジナルの広報や、ステッカー・のぼり旗等の広報物を活用したPRを実施していただき、オール川崎市で市制100周年の機運醸成を図りました。

【オリジナル広報の事例】

● JR東日本横浜支社

(市制100周年特別列車運行、100周年・フェア紹介車内アナウンス等)



● 川崎フロンターレ後援会

(コラボタペストリーの掲出、後援会会報誌裏封筒での市制100周年紹介等)



● 日本航空株式会社

(100周年・フェア紹介機内誌・機内アナウンス等)



【広報物活用の事例】



参画団体の御協力をいただき、100周年ステッカーやのぼり旗掲示

7 広報について

【主な取組⑤】 公式ウェブサイト・ニュースレター

さまざまな世代に情報が届くようウェブサイトやニュースレターなどを組み合わせて広報を展開しました。

● 実行委員会公式ウェブサイト



● ニュースレター



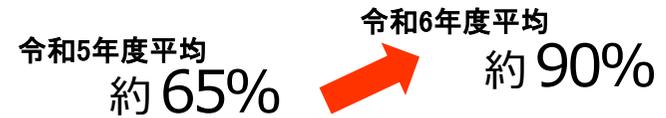
令和6 (2024)年
1月 創刊号発行
5月 第2号発行
10月 第3号発行
令和7 (2025)年
2月 第4号発行

【主な取組⑥】 イベントブース出展によるPR



ブース出展時に行った認知度調査結果

2024年が市制100周年であることを
知っている人の割合



7 広報について

【主な取組⑥】 映像の活用

市制100周年記念映像や実行委員会主催事業などのPR映像などを庁舎内ビジョン、デジタルサイネージ、イベント等で放映しました。

●市制100周年記念映像

YouTube川崎市チャンネルに公開。約2.3万回再生



●かわさき飛躍祭

川崎フロンターレホームゲーム大型ビジョンなどで放映



●川崎愛 遊びつくす 3日間

川崎駅北口大型ビジョンなどで放映



【主な取組⑦】 記念記録誌の発行

多くの市民に川崎のことを「知って、関わって、好きになっていただいた」市制100周年記念事業の軌跡を未来へ伝える記念記録誌を、令和7(2025)年8月末に発行する予定です。

8 協賛について

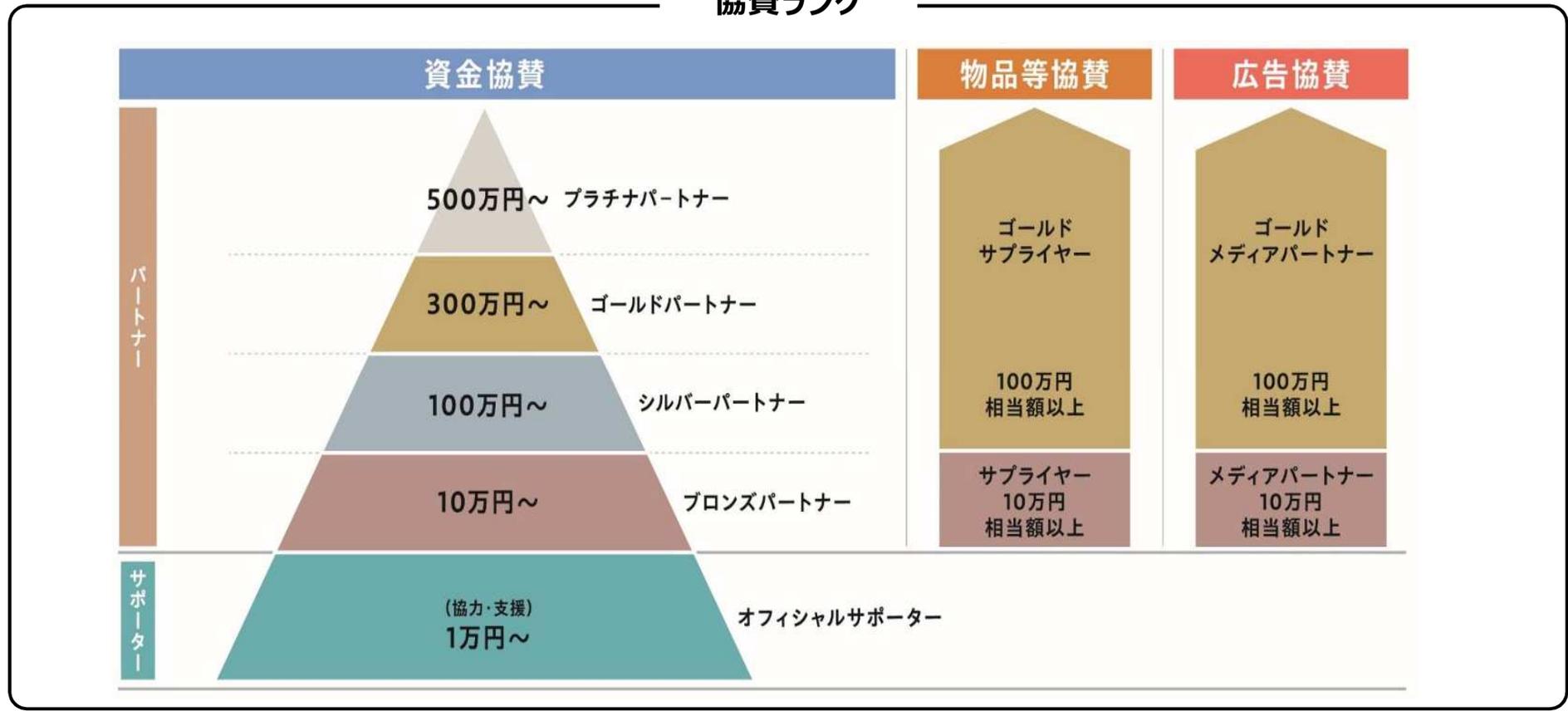
●協賛計画

実行委員会が主催する記念事業全体への一般協賛と、実行委員会主催事業や緑化フェア事業で独自に設定する個別事業への協賛について、それぞれの趣旨に賛同していただいた個人・企業・団体等から協賛を募って記念事業に取り組みました。

【募集期間】

資金協賛、協力・支援 令和5(2023)年9月1日～令和6(2024)年8月31日
 物品等協賛、広告協賛 令和5(2023)年9月1日～令和7(2025)年3月31日

協賛ランク



8 協賛について

●協賛等の申込状況

種別		金額(税抜き)	内 訳	
			協賛ランク	件数
協賛	資金協賛	【135先】 122,115,000円 ※申込締切 令和6(2024)年8月31日	プラチナパートナー (500万円～)	15
			ゴールドパートナー (300万円～)	3
			シルバーパートナー (100万円～)	27
			ブロンズパートナー (10万円～)	81
			オフィシャルサポーター (1万円～)	9
	物品等協賛	【52先】 85,196,608円	ゴールドサプライヤー (100万円相当額～)	33
			サプライヤー (10万円相当額～)	19
	広告協賛	【19先】 66,772,814円	ゴールドメディアパートナー (100万円相当額～)	17
			メディアパートナー (10万円相当額～)	2
	寄附		203,912円	-
合計		274,288,334円		

8 協賛について

● 協賛特典の提供状況

○ 公式ポスターへの企業・団体名掲載

- ・ 掲出時期：令和6(2024)年4月～
- ・ 掲載枚数：100周年：4,000枚程度 かわさきフェア：秋・春各2,000枚程度
- ・ 主な掲出先：実行委員会参画団体、区役所・図書館・市民館、
保育施設、小・中・高等学校、金融機関、駅、
コンビニエンスストア、高齢者施設 など



○ 協賛ボードへの企業・団体名掲載

・ 掲出事業

- かわさき飛躍祭(6月29日)、まんなかフェス(9月28日・29日)
- Colors,Future!Summit 2024 (11月2日・3日)
- みんなの川崎祭(11月3日)、ここから未来フェスタ(11月9日・10日)
- 子どもの力で川崎の未来をかえるプロジェクト(11月16日・17日)
- 全国都市緑化かわさきフェア(会期中)、みどりの共創プロジェクト(通年)



かわさき飛躍祭



Colors,Future!Summit 2024

○ 式典会場・エントランスホール内の広報、式典プログラムへの企業・団体名掲載

- ・ 時期：令和6(2024)年7月1日(月)
- ・ 場所：ミュージア川崎シンフォニーホール
- ・ 内容：①協賛ボードへの企業・団体名掲載
②協賛企業のCM放映
③式典プログラムへの企業・団体名掲載



8 協賛について

○公式WEBサイトへの企業・団体名掲載・バナーリンク設定

○公式WEBサイト記事・ニュースレター・SNS等への企業・団体名掲載

公式WEBサイト、市制100周年ニュースレターにおいて、協賛企業の取組を掲載

○公式記録誌への企業・団体名掲載

令和7年度発刊

○実行委員会ユニフォームへの企業ロゴ掲載

令和6年秋以降の実行委員会が主催するイベントやかわさきフェアの会場スタッフが着用するユニフォームへプラチナパートナーの企業・団体ロゴを掲載

○市長受領・感謝状贈呈

プラチナパートナーを対象に市長が感謝状を贈呈

○かわさきフェア会場エリア内への企業・団体名掲載

かわさきフェアコア会場(富士見公園、等々力緑地、生田緑地)にプラチナパートナーの企業・団体名看板を設置

○かわさきフェアガイドブックへの企業・団体名掲載

かわさきフェア開催時のガイドブックに企業・団体名を掲載

